

第 7 期宇治市生涯学習審議会 会議録

名 称	第 7 期宇治市生涯学習審議会 第 7 回審議会						
日 時	平成 28 年 6 月 23 日 (木) 午後 2 時半 ~ 4 時半						
場 所	生涯学習センター 2 階 一般研修室						
出席者	委員		岩井 浩	○	小宮山 恭子	○	西山 正一
		○	内田 徹	○	佐藤 るり子	○	林 みその
		×	奥西 隆三	○	清水 桂子	○	向山 ひろ子
		○	木村 孝		杉本 厚夫	○	森川 知史
		×	切明 友子	×	長積 仁	○	六嶋由美子
	事務局	○	藤原 千鶴 (教育部参事 (兼) 生涯学習課長 (兼) 生涯学習センター所長)				
			瀬野 克幸 (教育支援センター長)				
		×	富治林 順哉 (教育支援課長)				
		○	今庄 真樹 (生涯学習課副課長)				
		○	前田 暢 (生涯学習課主幹兼生涯スポーツ係長)				
		○	高橋 紀子 (生涯学習課事業係長 (兼) 生涯学習センター主査)				
		○	野口 里佳 (生涯学習課生涯学習係長)				
		×	粕谷 祐次 (生涯学習課生涯学習係主任)				
		○	太田 悠 (生涯学習課生涯学習係主任)				
傍聴者	なし						

会議要旨は、下記のとおりである。

• 第 6 回審議会の会議録について

訂正がないことを確認し、ホームページで公開する。 委員了承

1. 報告事項

➤ 第 7 期生涯学習審議会委員名簿について

一部職名等の欄に変更があったため、他に変更がないか確認。 変更なし

➤ 平成 28 年度京都府社会教育委員連絡協議会総会について

(事務局)

平成 28 年 6 月 10 日 (金) 綾部市中央公民館で開催された。祝辞、表彰のあと、平成 27 年度の事業報告、決算報告、平成 28 年度の事業案、予算案などの議事があり、その後「共生社会の実現と社会教育の推進～障害者権利条約から考えること～」と題し、京都府発達障害者支援センター長 竹村忠憲氏による講演があった。当審議会からは、6 名の委員が出席された。

(委員)

障害者を少数派、健常者を多数派とし、これまでは多数派に合わせてリハビリをしたり、施設に入ったり、という社会であったが、これからはみんなで一緒に暮らせる共生社会を築いていこうという内容であった。後日、たまたま京都新聞の人物紹介の記事で、骨が折れやすい難病を抱えた方のお話を読んだ。なんとか歩きたいと手術を受け、過酷なりハビリを行ったが、叶わず、自ら命を絶とうと思ったこともあったという内容だった。まさに、少数派が多数派に合わせる社会の状況であると感じ、この講演を思い出した。大変素晴らしい講演であったが、資料がもう少しわかり易かったら良かった。

(委員)

講演の前半は専門用語が多く、難しかった。後半に「この世の中に眼鏡がなかったら見えにくい、これも障害のひとつである」というお話があった。また、「重度の障害者より軽度の障害者の方が、健常者との関わりが多いが、お互いうまく理解ができずに、周りの方たちとトラブルになりやすい」というお話を聞き、自分の中で視点が少し変わった。

(委員長)

今までにないテーマで戸惑われた方もいらっしゃるかもしれないが、社会教育の観点からも大事な問題である。一番の障害は人間そのものであり、我々のものにとらえ方をどう変えていくかが重要であると思う。

➤ 平成 28 年度山城地方社会教育委員連絡協議会総会について

(事務局)

平成 28 年 6 月 16 日(木)京田辺市中央公民館で開催された。平成 27 年度の事業報告、決算報告、平成 28 年度の事業案、予算案などの議事のあと、京都府警察本部刑事部組織犯罪対策統括室組織犯罪対策第三課指導係 京都府警部補 福本嘉一氏による「薬物乱用の現状と対策について」という講演があった。当審議会からは、8 名の委員が出席された。

(委員)

実際の事件現場・逮捕場面などの写真スライドも使用した、臨場感のある講演だった。守秘義務の関係で話してもらえないこともあったが、事例をより深く理解するために、できれば詳しく話を聞きたかった。また、結論から話していただけたら分かりやすかった。薬物の分類について区別を知らなかったのが、大変勉強になった。危険ドラッグの若者の間での流行・若年化は深刻な社会問題である。そのことに関して悪い仲間からの断り方についていくつか紹介されたが、これは人生の様々な場面での断り方としても使えるので、参考になった。

(委員)

子どもさんにも講演の内容を話しておいてほしいとのことだったので、翌日娘に話してみたが、今は学校でもしっかり教育されているようで、大人が思っている以上に子どもた

ちはしっかり知識を得ていると娘から学んだ。しかし、学校での話をよく聞いていない子や、先輩からの繋がりを断ち切れない子もいる。親の立場としては、子に嫌がられても、話し続けなければいけないと思った。

(委員長)

障害者のテーマに続き、また違ったテーマでの講演だった。身近で簡単に薬物が手に入る時代であり、社会教育者の立場から私たちも考えさせられる内容であった。

2. 協議事項

➤ 今期の研究テーマについて

発表1 青少年センターの活動について

(事務局)

宇治市には青少年のための施設として善法、河原、大久保の3か所に青少年センターがある。それぞれに「人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて青少年の教育及び文化の向上並びに健全育成に資することを目的として、学習・文化活動の場として、また体育・スポーツ・レクリエーション活動、及び健全な遊びの場として設ける」や「文化・芸術・スポーツの活動を通じて青少年の『生きる力』を育み、健全育成を図る役割を果たす」などの目的で設立された。

善法青少年センターは昭和60年6月に開館し、「学習・文化活動」「体育・スポーツ・レクリエーション活動」「学力充実活動」「地域啓発活動」の4つを活動の柱に運営を行っており、平成26年度の来館者数は10,327人であった。河原青少年センターは昭和62年10月に開館し、「学習・文化活動」「体育・スポーツ・レクリエーション活動」「日常活動」「広報活動」の4つを活動の柱に運営を行い、平成26年度の来館者数は12,062人であった。そして、大久保青少年センターは昭和62年12月に開館し、「各種事業」に加え、「手芸」「料理」「音楽」「木工」「ストリートダンス」「卓球」「一輪車」「科学」「茶道」の9つの「こどもクラブ」を開講し、自由来館者も合わせて15,511人の来館があった。今年度のこどもクラブの登録者は204名(延べ265名)で、主に小学生が登録している。

3つのセンターに共通して言えることは、保護者、地域の方々や学校関係者等の様々な協力を得て運営していることである。善法青少年センターでは、書道教室や折り紙教室等で、河原青少年センターでは、ダンス教室や茶道教室等で、大久保青少年センターでは、世代間交流の取組等でご協力いただいている。また、いずれのセンターでも年2、3回は体験学習を行っており、子どもたちが喜びそうでかつ文化的な内容に触れられるような場所を選択している。

これらの活動を善法青少年センターは善法文化祭、河原青少年センターはセンター祭り「カメレオンパニック」、大久保青少年センターは「子ども文化祭」や「新春三世代交流会」などで保護者や地域の方々に成果発表をしている。活動については、各青少年センターでたよりを発行して情報発信をしている。今後も保護者や地域の方々にご協力いただきながら活動していく。

(委員)

青少年センターは全部で 3 館あるのか。

(事務局)

3 館に加え、趣旨の違う青少年指導センターがある。

(委員)

善法青少年センターと河原青少年センターはどの辺にあるのか。

(事務局)

善法青少年センターは市役所の東側の坂を越えたところ、河原青少年センターは北木幡保育所近くにある。

発表 2 スポーツ少年団について

(発表委員)

体育協会の一員に各競技の連盟や協会、そしてスポーツ少年団がある。スポーツ少年団の理念は青少年の健全育成である。宇治市スポーツ少年団は数年前から団員 10 名以上を規定しているが、少子化の影響で 10 名未満のところも出てきている。種目別団員数は 5,6 年前までは野球が一番多かったが、現在はサッカーが逆転している。野球は団員が少なく、合同チームで試合に出るところもある。団体種目はレギュラーにならないと試合に出られないが、個人種目は誰もが試合経験を積み重ねることができるという違いがある。

スポーツ少年団には団を支える育成母集団がある。その中に、ジュニアリーダーとシニアリーダーがある。ジュニアリーダーは小学 5 年生から中学生まで、シニアリーダーは 20 歳までとなっている。夏休み等のリーダースクールで資格を取って活動してもらっている。指導者と子どもの間を取り持つ役割、合宿のレクリエーション等を企画している。

10~20 年に 1 回ほど、団員が増えた際に、団が乱れることを経験した。原因は母集団での一部の保護者の問題である。昔は子どもたちが自分で道具を持って電車や自転車で練習に行っていたが、今は保護者が送迎して、そのまま練習を見ていくことが多い。そして、指導に対する考え方の違いから保護者が派閥に分裂した結果、団員が半減したことがあった。保護者は我々が育てた世代なので、我々が原因でもあり、反省させられる。

地方の特徴を生かした種目もあり、長野はスキー、海岸地域はヨット等がある。宇治市の特徴としては季節に応じて種目を選んで活動する複合部会がある。メリットはひとつの競技に集中しないので、成長期にバランスの良い体作りができる。デメリットは、道具をそろえるのにお金がかかるような競技は採り入れにくいことだ。

日本で一番大きなスポーツ少年団は広島市スポーツ少年団で、団員が 1 万人ほどいる。スポーツ団体を一本化したためであり、スポーツ少年団の指導者が中学校の部活の指導をしたり、中学校の部活をしている子がスポーツ少年団に入団したりと、中学校の部活とスポーツ少年団の関わりができたと聞いている。

スポーツ少年団は人づくりである。入団してくる理由は「子どもがやりたい」と「親が

やらせたい」がそれぞれ半分くらいである。親がやらせたい理由としては、「しつけをしてほしい」というものが一番多いが、しつけは親がするものであり、指導者に任せるものではないと私は考える。

(委員)

スポーツ少年団に入っている子どもの、地域の伝統の祭りなど各地域の行事への参加が少なく、地域との摩擦が起こることがある。どうしたらお祭り等の行事への協力をしてもらえるのか。

(発表委員)

スポーツ少年団の理念は地域に認められることであるので、協力しないのは団の姿勢が問題である。スポーツを楽しむことが一番大事だ。プロを目指す子はスポーツ少年団ではなく、別のクラブに入ることもあるようだ。

(委員)

スポーツ少年団は、地域と共に歩むという気持ちがないといけないと思った。子どもによっては、地域の行事にも出たいが、試合にも出ないと、という使命感を持っていることもある。奇数月、偶数月で地域優先、スポーツ少年団優先と決めてはどうだろうか。

(発表委員)

スポーツは楽しむことが重要だと思っていたが、大会で開会式から 30 分もしないうちに一回戦負けで、寂しい思いをすることもある。やはり勝つことの達成感も必要だと見直した。

(委員)

スポーツ少年団は礼儀正しい子が多い。スポーツを通じて礼儀を学んでいる。

(発表委員)

宇治市には府下第 2 の大きな都市だが、近隣の市町村の中でも武道館がない。宇治市内の体育館では靴跡があったり、砂が舞い上がって袴が真っ白になることもあった。本来、道場は神聖な場なので、私は入退出の際や試合の前後など、礼儀の指導も徹底している。

発表 3 地域と共に歩む笠取第二小学校

(発表委員)

市内に 22 小学校があるが、それぞれ特色のある学校作りをしている。笠取第二小学校は育友会、教育後援会や学区福祉委員会など、地域住民の協力があって学校が成り立っている。二尾、池尾、炭山の三つの地域が学区で、校歌にもそのことが謳われているが、過疎が原因で数年前から池尾から通う子がいなくなった。二尾も今年 6 年生の男の子が 1 人だけのため、このままだと来年度からは通う子がいなくなるかもしれない。また、昨年度

は新入生が 3 人いたが、いろいろと対策を考えたものの、結局今年度は 47 年ぶりに新入生がいなかった。今年で創立 110 年を迎えるが、宇治市内でも 100 年以上の歴史を持つ小学校は少ない。地域に支えられているとともに、子どもたちの力も大きい。児童数が全校 22 名と少なく、児童会の役員は全員で当たることになる。主な年間事業を紹介するが、「地域と共に」ということにこだわって進めている。

- ・祖父母参観は自分の孫が小学校に通っていない地域の方々にも来ていただいている。
- ・「地域を描く」ということをテーマに全校写生会を行っている。
- ・修学旅行は笠取小学校と合同で行っている。
- ・地域の方の茶園で全校茶摘み体験をしている。お茶っ葉クッキーを作ってくれた。
- ・学校の周りの自然を生かして全校で野鳥観察を行っている。
- ・交通安全教室は、ひとりひとりにかかる時間が長い。交通量が少ないので、安全意識が弱いのではないかと、特に危機感を持たせるようにしている。
- ・プール清掃は、高学年だけでなく、全児童で清掃を行う。
- ・全校サツマイモの苗植えのイモ畑は地域の方の協力を得ている。
- ・救急救命法講習会は、夏の水難事故防止のため、保護者に受けてもらっている。AED の使用方法など、病院から医師・看護師を招いて教えてもらった。職員も講習を受けている。
- ・毎年、若狭湾での臨海学習を笠取小学校と合同で行っている。そのため、プール指導には力を入れている。児童数が少なく、保護者のことも把握している。
- ・月 1 回行う「全校国語」という授業では、地域の方に読み聞かせをしてもらっている。
- ・中学進学に備えて、同じ校区内の 3 校で交流学習をしている。
- ・炭山の陶芸家の方々に絵付けの指導をしていただいている。
- ・国際交流の観点から AET の先生に授業をしてもらっている。
- ・地域の方々と夜間パトロールを行っている。
- ・今年度から、放課後に子どもの居場所づくりの一環で平日の笠二っ子クラブを行っている。理科教室、絵付け教室や山の歩き方、危険な植物の見分け方など、自然観察等も行っている。
- ・稲刈りを行う際は、苗植えから稲刈りまでの手をかけて行っている過程について説明している。
- ・運動会は地域挙げての合同運動会として、行っている。地域の方の協力、卒業生が出る種目もあり、多くの人が集まっている。
- ・アクトパルで日帰りの林間学習を行っている。
- ・和紙ちぎり絵教室は、中学年の図工の時間に地域のプロの方に教えてもらっている。
- ・国際交流の一環でインドネシアの伝統芸能を体験する。
- ・地域の方と保護者による学習会の昼食に、給食試食会が行われる。
- ・池尾地区で柿取りを行い、干し柿作りをしている。
- ・佛教大学の陸上部と交流があり、全校マラソン大会に参加してもらっている。
- ・地域の読書ボランティアの方にサプライズで昼休みにプレゼントを渡してもらった。
- ・雪国体験学習では、地域の方にご協力いただいてスキーをしている。
- ・陶芸体験では絵付けと土ひねりを行い、高学年はろくろを回した。

(委員)

以前、狂言師の方が笠取第二小学校の指導に来られていたが、どのようなつながりで、指導に来られたのか。

(発表委員)

平成 26 年に来られたと聞いている。

(委員)

笠取小学校にも指導に来ていたようで、国民文化祭の時に子ども達が発表した。おそらく、イベントに学校が応募したのではないか。連続ではなかったと思う。

(事務局)

第 4 回より今回まで 4 回にわたり、「ひとづくり、まちづくり」をテーマに各委員にご報告いただいた。第 8 回(8 月開催)と、第 9 回(10 月開催)では今までの報告をまとめた考察を発表していただき、それらをまとめて、今期の報告書作成に入っていきたい。

3. その他

➤ やましろ未来っこみんなで HUG フォーラムについて

(事務局)

8 月 28 日(日)久御山町中央公民館で開催。講演は森川委員長による「社会総がかりで子どもの自己肯定感をはぐくむ(仮題)」となっている。

➤ 平成 28 年度近畿地区社会教育研究大会(滋賀大会)について

(事務局)

9 月 9 日(金)大津市民会館他にて開催。

➤ 第 58 回全国社会教育研究大会千葉大会について

(事務局)

10 月 27 日(木)・28 日(金)千葉県文化会館他にて開催。

➤ 夏休み子ども わくわくフェアについて

(事務局)

7 月 29 日(金)・30 日(土)宇治市生涯学習センターにて開催。宇治市内の小学生を対象に、遊びと学びの体験の場を提供する。合計 35 団体が出展する。

➤ 平成 28 年度社会教育関連当初予算の概況について

(事務局)

総務費(市民会館運営費)11,472 千円、民生費(善法・河原青少年センター運営費・活動費)20,203 千円、教育費(社会教育総務費、文化財保護費、社会体育費、公民館費、

第 7 期宇治市生涯学習審議会 会議録

歴史資料館運営費、図書館運営費、総合野外活動センター運営費、生涯学習センター運営費、源氏物語ミュージアム運営費) 1,224,070 千円で、合計 1,255,745 千円。昨年度より、(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備費、野外活動センターグランドゴルフ場の整備費が増額となっている。議会修正案の可決、つまり予算がつかなかった債務負担行為 25 億 6 千万円については予算に計上されていない。

(委員)

社会体育費が 2 倍以上に増えているのはどうしてか。

(事務局)

野外活動センターのグラウンド・ゴルフ場の整備費は社会体育費になり、増額している。工作棟の工事費は総合野外活動センター運営費に入っている。

➤ 宇治市公共施設等総合管理計画の策定について

(事務局)

宇治市が管理する公共施設のマネジメントを総合的に管理する計画をとりまとめるため、検討委員会を立ち上げた。委員には西山委員と奥西委員にも参加していただいている。小中学校・幼稚園。公民館など市内 279 の施設を対象に、平成 28 年度は総合管理計画の策定を目指し、平成 29 年度以降に実施計画を策定する予定である。

(委員)

宇治公民館については今後どうなるのか。

(事務局)

これまでいただいたご意見を受け止めて、今後の(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園をどうしていくか、そこに連動して宇治公民館をどうしていくかを考えていくことになる。

➤ 最後に

(委員長職務代理)

今回も各分野について熱く語っていただき、とくに笠取第二小学校の取組は大変羨ましいものだと感じた。次回以降の発表については、今期のまとめに向かう重要なところへ入っていくので、頑張っていきたい。

< 次回の会議について >

平成 28 年 8 月 17 日(水) 午後 2 時から 生涯学習センターにて